

地方独立行政法人福岡市立病院機構
令和元年度第6回理事会 議事録（要旨）

- 日 時：令和2年1月22日（水）16:00～17:00
- 場 所：運営本部 応接室1
- 出席者：原理事長（議長），桑野副理事長，石原理事，神坂理事，野中理事
久留監事，柳澤監事（欠席：久保理事）

□ 議 事

【報告事項】

1 令和元年度決算見込について

<概要>

令和元年度決算見込について、事務局より説明を行った。

<主な意見等>

（こども病院）

- 収入は計画を上回り、経費も削減できているが、入院収益は前年に比べて減少している。
- 働き方改革の影響で医師の年休取得率も上がり、手術件数が減少している。

（市民病院）

- 職員一人一人が経営状況を把握し、意識することが重要である。
- 病院の状況について、全職員に向け院長報告を行っている。
- 経費削減も重要だが、例えば患者獲得のため、主な商圏である博多区や東区の区役所等に広報のポスター掲示を依頼するなど、売上を伸ばす努力も合わせてすべき。
- 勉強会など地域における様々な関わりの中でもしっかりとPRしたい。
- 稼ぎ頭の医師がいなくなると売上は落ちるし、医師不足もあり確保が重要である。
- 4月からの同一労働同一賃金への対応は現在検討中だが、働き方改革により経営にさらに大きな負荷がかかる。
- 国全体で公立病院再編の動きもあり、過渡期をどう乗り切るかが重要。
- 新型コロナウイルスは今のところ深刻化していないが、感染症病床がある市民病院の存在意義は大きい。
- 来年度予算については現在作成中だが、現状をしっかりと分析した上で、数字の根拠をきちんと示したい。

2 職員団体表彰（年末表彰）について

<概要>

職員団体表彰（年末表彰）について、事務局より説明を行った。

（受賞内容）

- 最優秀賞 1件

テーマ：川崎病冠動脈炎のメカニズム解明

受賞者：福岡市立こども病院川崎病センター

九州大学等との共同研究により川崎病患者の血清を解析した結果、冠動脈拡張に影響している分子が酸化リン脂質であることが明らかになり、動脈硬化と類似したメカニズムであることが判明した。

- 優秀賞 1件

テーマ：腹臥位で脊椎手術を受ける患者への褥瘡対策の取組み

受賞者：福岡市民病院手術部及び皮膚排泄ケア認定専従者

腹臥位で脊椎手術を受ける患者の褥瘡対策として、褥瘡発生のハイリスク患者を抽出し、フォーム状創傷被覆・保護材を効率的に使用することで、発生をゼロにできた。

○ 努力賞 1件

テーマ：RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）による業務改善の取組み

受賞者：福岡市立こども病院 RPA プロジェクトチーム

これまで職員が行っていた時間外集計や給与明細配付といった単純事務作業を、ソフトウェアロボットが行うよう自動化した。

<主な意見等>

特になし